

第9章 近代ヨーロッパの成立 2. ルネサンス a. ルネサンス

①中世末期の[1 都市]の発展→[2 ルネサンス]とよばれる文化運動の発生。

ルネサンスとは「[3 再生]」という意味であり、14世紀[4 イタリア]で生まれ、15世紀に全盛期を迎え、[5 16]世紀には西ヨーロッパ各地にひろがった文化運動をさす。

中世の[6 身分]的束縛や固定化した[7 カトリック]の教義にとらわれず、[8 現世]に生きる[9 楽しみ]や[10 理性]・[11 感情]を重視し、人間性の[12 自由][13 解放]をもとめ、各人の[14 個性]を尊重した。それをささえる的思想となったものが[15 人文主義]である。



ダヴィンチ[a モナ=リザ]

③ルネサンスの基本精神=[16 ヒューマニズム](人文主義)
→その立場に立つ人=ヒューマニスト

ヒューマニズム([17 人文]主義)…[18 ルネサンス]の基本的な思想。
[19 ギリシア=ローマ]時代の古典文化を深く研究することで[20 理性と感情を調和させた]人間らしい豊かな生き方を追求しようとする生き方。こうした立場に立つ知識人を[21 ヒューマニスト]とよぶ。

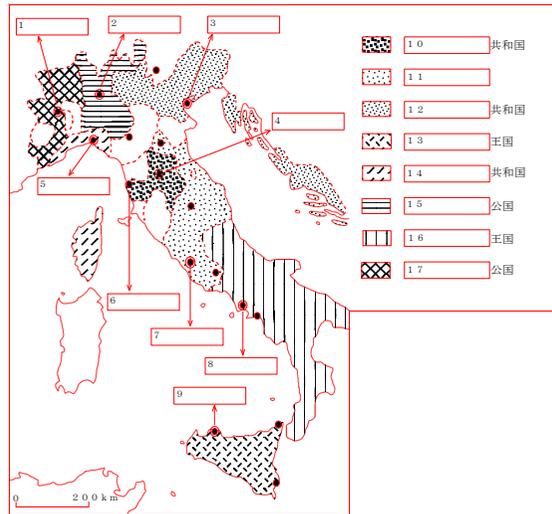
④ルネサンスの発生…[22 東方]貿易の中心地であった[23 北イタリア]や、[24 毛織物]業・南北ヨーロッパ商業の中継地であった[25 ネーデルラント]などで発展

現在の[26 オランダ][27 ベルギー]

担い手…都市に住む教養人…[28 フィレンツェ]の大富豪[29 メディチ]家やミラノ公、[30 ローマ教皇]などの保護をうける
イタリア北部の工業都市

↓
16世紀…イギリス・フランス・スペインで[31 絶対君主]の保護の下で発展

※ルネサンスの性格…[32 貴族]的性格を帯び、既存の政治・教会・社会への批判は[33 弱い]。



ルネサンス時代のイタリア

⑤イタリアの状況

ア)[34 都市]国家や諸侯などの分立
([35 フィレンツェ]・ヴェネツィア・[36 ミラノ]など)
メディチ家 ヴィスコンティ家

イ)[37 ローマ教会]の存在=西ヨーロッパ世界の中心→[38 外国勢力]の介入の原因に

ウ)[39 神聖ローマ皇帝(ドイツ)]やフランスなど外国勢力の介入を背景に内部での対立・抗争つづく

→[40 教皇]党(ゲルフ)と
[41 皇帝]党(ギベリン)

⑥イタリア=ルネサンスの背景

ア)古代[42 ローマ]の遺産の存在

イ)[43 ビザンツ]帝国の衰退(1453滅亡)→学者たちのイタリア移住=[44 ギリシア]語を伝える



[b ボッティチェリ]「春(プリマヴェーラ)」

イタリアでは[45 東方]貿易の発展を背景に、ヴェネツィア・[46 フィレンツェ]・ミラノなど有力な都市国家や多くの国家が存在したが、全イタリアを統轄する王が存在せず、[47 ローマ教皇]がローマにいたこともあって、各国の介入もつづいた。また国内で[48 皇帝]党と[49 教皇]党の対立抗争もつづくなど分裂状態がつづいた。

ルネサンスはまず[50 フィレンツェ]をはじめとする北イタリアではじまった。その背景には[51 東方貿易]や遠隔地交易による都市の繁栄、かつての[52 ローマ]文化の中心地であることから多くの遺跡が残っていたこと、1453年に滅亡した[53 ビザンツ]帝国からの学者の受け入れなどがある。中心となった学者や芸術家は[54 都市]の教養人で、多くの農民大衆とは無縁であり、それをフィレンツェの[55 メディチ]家などの大富豪や[56 ローマ教皇]など権力者が支えたため一種の[57 貴族]性をもち、実際の政治や教会、社会体制を正面から批判するものにはならなかった。

15世紀末にはルネサンスの中心であった[58 フィレンツェ]の内部混乱から中心は[59 ローマ]にうつりローマ教皇[60 レオ10世](メディチ家出身)らの保護をうけ発展した。

b. 文芸と思想 欲望のままに生きることはすばらしいことだ!!

①ルネサンス文芸の出発
(14世紀、イタリア[61 フィレンツェ]中心)

ア)[62 ダンテ]…叙事詩「神曲」を[63 口(トスカナ)]語で書く、個性豊かな[64 人間性]重視
(→これまではラテン語でかかれる)

イ)ボッカチオ…「[65 デカメロン]」
=滑稽な人間描写で、世相を風刺、オムニバス形式

→チョーサー(英 14世紀後期)「[66 カンタベリー]物語」オムニバス形式

②近代的思想の形成

ア)[67 エラスムス](ネーデルラント/16世紀前…「最大のヒューマニスト」、
古代ギリシア語研究→聖書の研究 「宗教改革の毒蛇はエラスムスが卵を産み、ルターが孵した。」
[68 『愚神礼讃』]で教会などの拝金主義の風潮を風刺、純粋な姿を求める

イ)[69 トマス=モア](英/16世紀前)…[70 ユートピア]で理想社会を描き、英の現実を批判
エラスムスの友人、[71 宗教改革]に際し王に処刑される